



報道発表資料

2008年7月7日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、ASTERIA WARP の最新バージョンを出荷開始

～ 100項目を超えるユーザーフィードバックを反映し完成度に磨きをかける ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853）は、国内 EAI ソフトウェア出荷数 2 年連続 No.1（注 1）である ASTERIA シリーズの「ASTERIA WARP」（アステリア ワープ）の最新バージョン「ASTERIA WARP 4.2」を本日から出荷することを発表いたします。

最新バージョン「ASTERIA WARP 4.2」では、主力製品である「ASTERIA WARP」シリーズに寄せられた、お客様からの機能要望や改良点を中心として 100 項目を超える機能追加と改善を実施しました。特に、ユーザビリティと開発生産性を強化し大幅な顧客満足度の向上を狙った製品であると同時に、お客様の業務における ASTERIA WARP の活用範囲が拡がり、業務の効率化や自動化による作業時間の短縮や業務の削減を実現いたします。

また、金融庁や東京証券取引所などでの採用を皮切りに急速な普及が見込まれる XBRL (eXtensible Business Reporting Language) への対応の強化や、SOA (Service Oriented Architecture) において中心となる Web サービスへのより高度な対応等、企業システムをとりまく環境の変化にもいち早く対応いたしました。

なお、「ASTERIA WARP」のバージョンアップと同時に、「ASTERIA WARP Lite」もバージョンアップを実施し、「ASTERIA WARP Lite 4.2」として提供開始いたします。

ASTERIA の最新バージョンで強化される主な点は、以下の通りです。

【機能ハイライト】

- RDB 連携機能において 2 フェーズコミットに対応 (WARP のみ)
- Excel ファイル連携機能においてマルチレコード、マルチシート、およびセル属性変更機能など大幅な機能強化 (WARP のみ)

- SOAP Document Literal 型受信機能の追加 (WARP のみ)
- XBRL 連携機能の TDNET、EDINET、e-Tax への支援機能を追加 (WARP のみ)
- オンライン表計算「OnSheet」連携機能を強化 (WARP, Lite)
- ファイル転送サービス「ASTERIA Data Caster」連携機能を追加 (WARP, Lite)
- HTML メール連携に対応 (WARP, Lite)
- Pipeline API を正式リリース (WARP, Lite)

(注 1) テクノシステムリサーチ社「2006 年ソフトウェアマーケティング総覧」、「2007 年ソフトウェアマーケティング総覧」による。

■ インフォテリア株式会社について

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様な「つなぐ」を実現し、コミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。主力製品の「ASTERIA」は大企業、中堅企業を中心に 470 社以上 (2008 年 3 月末現在) の企業に導入されています。

→ <http://www.infoteria.com/>

※Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。ASTERIAは、インフォテリア株式会社の登録商標です。

※本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

インフォテリア株式会社 広報担当：嶋 かおる

TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261

E-mail:press@infoteria.co.jp